

令和5年8月

町長日誌

新型コロナ感染症が5類感染症へ移行したこともあり、盆踊りや花火が復活した地域も多く見られました。計画された役員のみなさんや準備にあたられたみなさん、お疲れ様でした。

さて、今年の夏は本当に暑く感じましたが、気象庁からも「記録的な猛暑」と発表がありました。世界的にも気温が高く、地球温暖化の影響であると考えられます。また、大型の台風が日本付近に次々と到来し、鳥取県では8月15日に近畿から山陰に向けて台風7号が接近しました。この台風では線状降水帯による豪雨が発生し、鳥取市佐治町や三朝町でも連続雨量700ミリという想像もつかなかったほどの雨量となりました。河川沿いの道路の崩壊などにより道路は通行止めとなり、一時は孤立集落や断水地域ができるなど、大きな災害被害となりました。被災されました方々には心よりお見舞い申し上げます。無線放送においては、行政のトップが通常とは違う「強いことば」で発信されたと聞きました。これは「危機管理トップセミナー」で学んだ行動だったなど、私も改めて認識しました。

台風はこれからも続くと思われそうですし、大型化しています。誰しものが、いつこうした緊急事態に襲われるかわかりません。地形や世帯構成など地域の特殊性を考慮して、関係機関と連携して実践的予防活動・訓練につなげていきたいと強く感じています。

話は変わりますが、新型コロナ感染症は5類感染症移行後も感染者がじわじわと増えています。国では、ワクチン接種を継続する予定で、本町も9月からワクチン接種を行う計画を立てており、町民のみなさんに接種のご案内を進めています。みなさん、ワクチン接種について前向きにご検討をお願いします。

今年は春から暖かい日が続き、すでに稲刈りも始まったと聞いています。稲は、見た目では平年並みに見えますし、倒伏も少ないのではと思われそうです。田んぼにはトンボも舞い、秋の農村風景が広がっています。農家のみなさんにおかれましては、作業中の安全に留意し、おいしい日南町産米の収穫に汗を流していただければと思います。まだまだ暑い日が続くと予報も出ていますので、みなさんどうぞご自愛ください。

令和5年8月30日 日南町長 中村英明